2026年（令和8年）司法試験の結果について

11月11日、本年の司法試験の合格発表がありました。関西学院大学法科大学院からは、受験者55名のうち23名が最終合格を果たしました。合格率は41.82%で、全国の法科大学院の中で第8位となり、合格者数、合格率、全国順位ともに、昨年より躍進しました。特に、法学未修者の合格率は38.10%（21名中8名合格）で、昨年に続いて全国第1位となりました。さらに、在学中受験者の合格率は88.89%（9名中8名合格）で、全国第1位となりました。なお、本年は短答式試験でも、合格率87.27%（55名中48名合格）で、学生募集を継続している法科大学院の中で全国第1位でした。まずは、それぞれ様々な困難を抱えながらも、見事に所期の目的を達成された本法科大学院の合格者のみなさんに敬意を表するとともに、心からお祝いを申し上げます。

入学定員が30名と少ない本法科大学院にとって、今年の成績はかなり良好な部類に属します。合格率が4割を超えたのは、初の新司法試験で法学既修者のみが受験した2006年以来20年ぶりで、本法科大学院で歴代2位の成績となります。また、未修者合格率、在学中受験合格率、募集継続校における短答式合格率が、トリプルで全国第1位となったことは、本法科大学院初の快挙といえます。これは、合格者の皆さんのご努力の賜物であることはいうまでもありませんが、これまでの本法科大学院における教育力向上に向けた取り組みが着実に実を結んだものでもあると受け止めています。今後も、一層の教育力充実に取り組んでまいります。

なお、合格者23名のうち9名が本学法学部出身（39.1%）でしたが、そのうち6名が早期卒業生で、さらにそのうちの2名が在学中受験の合格者でした。本学法学部との連携は今後も本法科大学院にとっての重要な施策の一つであり、今後も緊密な連携に努めてまいります。

もとより、他大学から本法科大学院を選んでくれた14名の合格者のみなさんも、我々にとっては同様に誇りです。交通の利便性に優れた西宮北口キャンパスにおいて、これまで以上に多くの優秀な入学者を受け入れるとともに、法曹コース制度の定着に向けて、入試制度や教育カリキュラムの改善等の取り組みを積極的に推進していく所存です。そして、関西学院のスクール・モットーである‘Mastery for Service’を体現する優れた法曹をより一層輩出することができるよう、今後も尽力してまいりたいと考えています。

今後とも本法科大学院への温かいご支援・ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

2026年11月11日

関西学院大学大学院司法研究科長　中原　茂樹